

各機関の令和6年度の取組み 及び今後の予定について

令和7年6月23日

鈴鹿川外・雲出川外・櫛田川外・宮川外
大規模氾濫減災協議会(合同協議会)

- これまでの取組状況及び今後の取組予定・・・・・・・・・・・・ 1
- 令和6年度の各機関の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

これまでの取組状況及び今後の取組予定

①小中学校における防災(水災害)教育の実施

- 令和元年度より、小学校にて新学習指導要領の全面実施に向け支援校に対して防災教育の支援を実施しており、今年度も引き続き実施。
- 教材（副読本）、運営用資料（卓上模型、モニタージュ写真等）の授業運営に関する支援と併せ、**各学校が主体となり継続的に実施できるような仕組みづくりを引き続き実施。**

試行授業実施状況

河川名	学校名	R元	R2	R3	R4	R5	R6
鈴鹿川	鈴鹿市立河曲小学校	●	—	—	—	—	—
	鈴鹿市立神戸小学校	—	—	●	—	—	—
	鈴鹿市庄野小学校	—	—	—	●	—	—
	鈴鹿市清和小学校	—	—	—	●	●	—
雲出川	津市立香良洲小学校	●	●	●	●	●	●
	津市立一志西小学校	—	●	●	—	—	—
	津市立榊形小学校	—	—	—	●	—	—
	津市立芸濃小学校	—	—	—	—	●	—
御田川	津市立千里ヶ丘小学校	—	—	—	—	—	●
	松阪市立掃水小学校	●	●	—	—	—	—
	松阪市西黒部小学校	—	●	●	●	—	—
	松阪市東黒部小学校	—	—	—	●	—	—
宮川	松阪市立機殿小学校	—	—	—	—	●	—
	伊勢市立豊浜西小学校	●	●	●	—	—	●
	伊勢市立佐八小学校	—	●	—	—	—	—
	伊勢市豊浜東小学校	—	●	●	—	●	—
	伊勢市立御園小学校	—	●	—	—	—	—
	伊勢市立小俣小学校	—	—	●	●	●	●
	伊勢市立浜郷小学校	—	—	—	●	—	—



今年度の授業の様子（伊勢市立小俣小学校）

副読本

副読本

雲出川マイクモデル

小俣小学校
フォトモニター

①小中学校における防災(水災害)教育の実施

- 防災教育の支援の一環として、ポータルサイトを作成。
- ポータルサイトのコンテンツとして、「トピックス」、「学校教育教材」、「学習用素材」、「教員の方へ(e-learning)」を掲載。
- 令和6年度、副読本の多言語対応及び、ポータルサイトへ紹介コンテンツの追加掲載。

ポータルサイトの構成	
コンテンツ	概要
トピックス	学校や地域において、防災教育を実施した事例、実施のきっかけや実施までの準備・流れ、使用した教材、参加者の反応などを紹介
学校教育教材	学校防災教育用に作成した副読本、学習指導・発問計画、プリントを紹介
学習用素材	学習用のマイクロモデル(模型)、フォトモンタージュ、防災カードゲーム等の素材・リンク先を紹介
教員の方へ(e-learning)	三重県内で実施された防災教育の試行授業動画(ダイジェスト版)を掲載 ※全4時限、それぞれ2動画掲載(各2分程度)

教育関係者向け
水防災教育訴求・啓発動画

小学生向け
水防災教育

川と暮らしていく子どもたち
水防災教育の取り組み

子どもたちから広げる防災教育
雨がふったらどんな危険があるか考えよう
- 道が水浸して下が見えない
- 段差や溝に気づかなくて転ぶかも

三重河川国道事務所

わかる防災啓発
ステップ1

児童自身が「自分の命を守る」ことを学ぶ

e-learning
(試行授業動画(ダイジェスト版))



<展開③④：災害理解>
水害時(堤防決壊、道路崩壊、土砂災害、宮川流域の台風被害等)の
写真を見て、大雨が降るとどのような被害が出るのかを学習します。
また、水害が起こる過程を、紙芝居を使って考えます。

副読本の多言語対応 R6追加

Proteger vidas das inundações
Episódio do Rio Kumozu



Inundações causadas pelo tufão 18, 2009

No rio Kumozu, aprendemos que foram construídos diques para evitar que o rio transbordasse durante as chuvas fortes. Mesmo assim, a água não transbordou do local onde se encontra o alarme?

<O rio flui> Antes da chuva: Depois de chover

Boa pergunta. Quando ocorrem chuvas fortes, grandes quantidades de água do curso superior do rio Kumozu podem transbordar das suas margens. Vejamos algumas das principais inundações e danos recentes que ocorreram no rio Kumozu.

ポルトガル語版の教材の作成

紹介コンテンツの追加 R6追加

防災教育ポータル

トピックス

伊勢市立豊西小学校 4年生での防災学習

津市立有良小学校 4年生での防災学習

伊勢市立小松小学校

トピックスページに
令和6年度の事例を追加

②危機管理型水位計と簡易型河川監視カメラの設置

- 洪水時の水位観測に特化した低コストな水位計を開発することで、**水位計未設置河川や地先レベルのきめ細やかな水位把握が必要な河川への水位計の普及を促進し、水位観測網の充実を図る。**
(R7.3末時点で、三重河川国道事務所にて87基、三重県にて216基設置)
- 機能を限定した低コストの簡易カメラ（簡易型河川監視カメラ）を設置し、**多くの地点で河川状況を確認することで従来の水位情報だけでは伝わりにくい「切迫感」を共有し、円滑な避難を促進。**
(R7.3末時点で、三重河川国道事務所にて41基設置、三重県にて88基設置)

簡易型監視カメラの閲覧方法（川の水位情報より）

川の水位情報
2020/03/25 10:18

河川カメラ
(簡易型河川監視カメラ含む)

通常水位計

危機管理型水位計

画面ではCCTVと簡易型カメラが同じ表示のため、メニューの表示切替で河川監視カメラ(簡易型)のみのチェックとすることで、簡易型河川監視カメラの設置位置が確認できます。

クリック

マニュアル

ご利用上の注意

表示切替

☒ 水位計

☒ 危機管理型水位計

☐ 河川監視カメラ(CCTV)

☒ 河川監視カメラ(簡易型)

☒ 河川ライン

地図切替

国土地理院データ

選択

リンク

川の水位情報
<https://k.river.go.jp>

川の水位情報

- ・危機管理型水位計・通常水位計・**河川カメラ(簡易型河川カメラも含む)**が同一画面上に表示。
- ・**氾濫するまでの程度の余裕があるか**リアルタイムに確認。
- ・**河川カメラ(簡易型河川カメラ含む)**により、**河川の状況を画像にて確認。**

堤防の高さからの下がり方を計測

カメラ画像の確認

洪水時は事務所HP・X(旧Twitter)でも防災情報を発信しています
HP : <https://www.cbr.mlit.go.jp/mie/>
X(旧Twitter) : https://x.com/mlit_mie

③地域と連携した水防活動に関する取組

- 5月の水防月間にて、三重四川連合総合水防演習を実施。
- 会場では、各種水防工法訓練、道路啓開訓練に加え、展示ブース、体験コーナーを設置し、様々な関係機関が参加・連携した。

- ・日時：令和6年5月19日（日） 9:00～
- ・場所：三重県津市木造町地先 雲出川緑地公園
一級河川雲出川 左岸6.2km



シンプルでわかりやすい防災気象情報の再構築に向け、防災気象情報全体の体系整理や個々の情報の見直しを行い、新たな防災気象情報の運用をR8年度から開始。それに向けて、R7年度は気象庁内におけるシステムや気象庁HPの改修、基準値の検討・設定作業、関係機関との調整、自治体・住民への周知広報等を行う。

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

- 防災気象情報（大雨浸水、河川氾濫、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。**（例：レベル4大雨危険警報 等）
- 情報と対応する防災行動との関係が明確に。（レベルの数字で、とるべき行動が分かる！）

	大雨浸水 低地の浸水や 小さな河川の氾濫	河川氾濫 1級河川などの 大きな河川の氾濫	土砂災害 急傾斜地のかけ崩れや 土石流	高潮 海水面上昇や 高波による浸水	住民が とるべき行動
5	レベル5 大雨特別警報	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！>					
4	レベル4 大雨危険警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
3	レベル3 大雨警報	レベル3 氾濫警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
2	レベル2 大雨注意報	レベル2 氾濫注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
1	早期注意情報				災害への心構えを高める

※情報名称の最終決定は、法制度などとの関係も踏まえ、気象庁・国土交通省が行う

新しい防災気象情報（R8出水期から運用開始予定）

- これまで、気象警報・注意報を補足する情報等として伝えてきた様々な気象情報を、**「気象防災速報」と「気象解説情報」の大きく2つのカテゴリーに分類**して発表。
- 線状降水帯の発生や、記録的な短時間大雨など、顕著現象が発生または発生しつつある場合にその旨を、「気象防災速報」として速報的に伝える。

気象防災速報 …… 極端な現象を速報的に伝える情報



気象解説情報 …… 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報



※何に着目した情報なのかがわかるよう、括弧内にキーワードを付す。

線状降水帯に関する情報についての改善

R7年度は、線状降水帯の府県単位での半日前からの予測については、危険度をより考慮した発表対象地域の絞り込みを行った上で、府県単位で発表する。今後も精度向上に努めていく。

2024年8月31日13時50分に三重県で線状降水帯が発生した際の、半日前の呼びかけ。当日の5時42分に情報が発表されています。

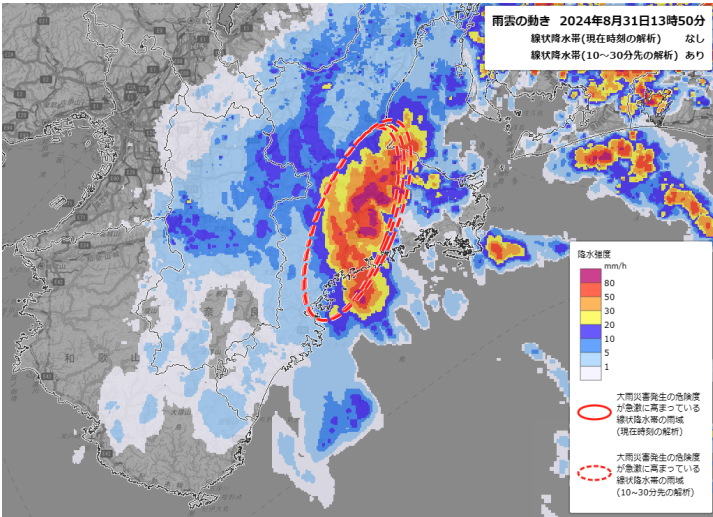
令和6年 台風第10号に関する三重県気象情報 第19号
令和6年8月31日05時42分 津地方気象台発表

(見出し) 三重県では、9月1日午前中にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性があります。

2024年8月31日13時50分に三重県で線状降水帯が発生した際、線状降水帯の発生を知らせる情報が13時57分に発表されています。

顕著な大雨に関する三重県気象情報 第1号
令和6年8月31日13時57分 津地方気象台発表

(見出し) 三重県北中部では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続けています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。



「顕著な大雨に関する気象情報」の発表条件に達した地域を地図上で大まかに把握できるよう、気象庁HPの「雨雲の動き」、「今後の雨」の地図上に赤楕円で表示する。実況で解析された楕円を赤の実線で、10～30分先に解析された楕円はすべて赤の破線で表示。

←2024年8月31日に三重県内で発生した線状降水帯（気象庁HP）

情報の改善

令和3(2021)年
線状降水帯の発生を
お知らせする情報
(令和3年6月提供開始)

線状降水帯の雨域を
楕円で表示

「明るいうちから早めの避難」・・・段階的に対象地域を狭めていく

令和4(2022)年～
広域で半日前から予測
(令和4年6月提供開始)

令和6(2024)年～
府県単位で半日前から予測
(令和6年5月提供開始)

令和5(2023)年～
最大30分程度前倒して発表
(令和5年5月提供開始)

令和8(2026)年～
2～3時間前を目標に
発表

次期静止
気象衛星
(令和11年度
運用開始予定)

令和11(2029)年～
市町村単位で危険度の把握
が可能な危険度分布形式の
情報を半日前から提供

「迫りくる危険から直ちに避難」・・・段階的に情報の発表を早めていく

国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく

令和6年度の各機関の取組

令和6年度の各機関の取組項目

【重点項目】

- ①水害リスクの空白域の解消
- ②持続的な水災害教育の実施と伝承
- ③実効性のある要配慮者施設の避難確保計画の作成促進と避難訓練の実施
- ④その他減災に係る取組方針の項目

【主な取組項目】

- ①迅速な避難と被害の最小化に向けた地域住民の防災意識向上のための取組
- ②逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組
- ③氾濫による被害の軽減のための迅速かつ的確な水防活動・排水活動の取組
- ④河川管理者等が実施する防災施設の整備・被害現象のための対策
- ⑤土砂災害に対する警戒避難体制を充実・強化するための取組
- ⑥避難行動の確実化に向けた迅速かつ的確な情報提供を行うための取組

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく〇〇河川の減災に係る取組方針より

令和6年度の各機関の取組 各機関総目次

機関名	概 要	取扱項目	ページ
四日市市	準用河川源の堀川河川改修事業	④	13
	準用河川堀川における内水対策	④	
鈴鹿市	防災啓発活動の実施	②	14
	要配慮者施設における一斉避難訓練	③	
亀山市	風水害ハザードマップの作成	①	15
	防災訓練の実施促進	③	
	河道掘削	④	
川越町	体験型防災訓練の実施	②	16
	外国人への防災教育の実施	②	
朝日町	防災教育の支援	②	17
	企業等と連携した避難体制等の確保	④	
津市	内水浸水想定区域図の作成・公表	①	18
	浸水センサの設置	④	
	洪水・土砂災害・内水ハザードマップの作成	①	
松阪市	洪水、内水ハザードマップの作成	①	19
伊勢市	防災講習等の実施	①	20
	水防訓練の実施	④	
玉城町	防災マップの作成・配布、洪水浸水ハザードマップの周知	①	21
	防災教育の支援、水防訓練等の実施	②	
大台町	防災教育の支援	②	22
	災害からライフラインを守る事前伐採事業	④	
度会町	大規模災害を想定した防災訓練の実施	④	23
	流倒木撤去	④	
南伊勢町	防災教育の支援	②	24
	地域防災教育の支援	②	
三重県 施設災害対策課	避難確保計画策定及び避難訓練実施の促進	③	25
四日市建設事務所	簡易型河川監視カメラの設置	④	26
	治水安全度を向上させるためのハード対策	④	
鈴鹿建設事務所	河川改修・堆積土砂撤去(棕川)、堤防強化(中ノ川)	④	27
津地方气象台	防災気象情報の利活用について説明会を実施	①	28
	気象情報の改善	②	
蓮ダム	防災訓練の講演、防災教育の支援	②	29

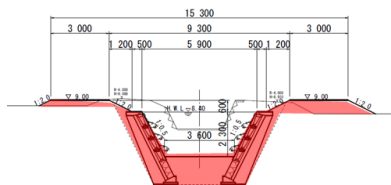
【その他減災に係る取組方針の項目】

- ・河川管理者等が実施する防災施設の整備・被害現象のための対策

【多数の家屋や重要施設等の保全対策： 準用河川源の堀川河川改修事業】

事業区間周辺では過去に浸水被害が発生しており、準用河川の堀川の拡幅整備を実施することにより、流域における治水の安全度の向上を図る。

- 実績 築堤護岸整備（左右岸）L = 70.0m



【多数の家屋や重要施設等の保全対策： 準用河川堀川における内水対策】

三重県が実施する三滝新川河川改修（完成分派）に伴い、堀川流域の内水対策を実施することにより、流域における治水安全度の向上を図る。

- 実績 ○放水路（堀川上流部）整備に着手
○排水機場（堀川下流部）整備に着手



【持続的な水災害教育の実施と伝承】

- ・ 迅速な避難と被害の最小化に向けた地域住民の防災意識向上のための取組

【実効性のある要配慮者施設の避難確保計画の作成促進と避難訓練の実施】

- ・ 迅速な避難と被害の最小化に向けた地域住民の防災意識向上のための取組

【防災啓発活動の実施】



【要配慮者施設における一斉避難訓練】

令和7年3月19日実施



保育園での避難訓練の様子



病院での避難訓練の様子



障害者支援施設での避難訓練の様子

【水害リスク情報の空白域の解消】

- ・土砂災害に対する警戒避難体制を充実・強化するための取組

【実効性のある要配慮者施設の避難確保計画の作成促進と避難訓練の実施】

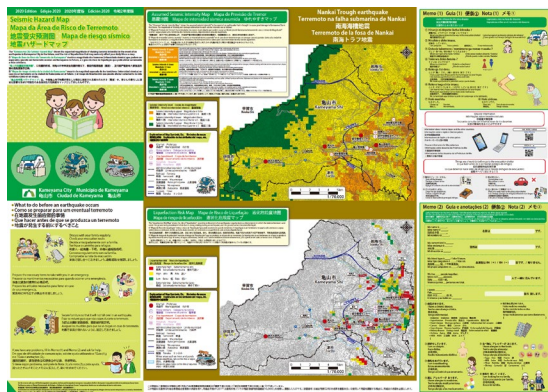
- ・迅速な避難と被害の最小化に向けた地域住民の防災意識向上のための取組

【その他減災に係る取組方針の項目】

- ・河川管理者等が実施する防災施設の整備・被害現象のための対策

【水害リスク情報の空白域の解消】

- ・風水害ハザードマップ（多言語版）を作成しました。
- ・宅地開発等に対し個別に相談対応しています。【継続】



宅地開発等の
個別対応



【持続的な水災害教育の実施と伝承】

- ・要配慮者利用施設に対して、防災訓練の実施促進を行いました。【継続】



【その他減災に係る取組方針の項目】

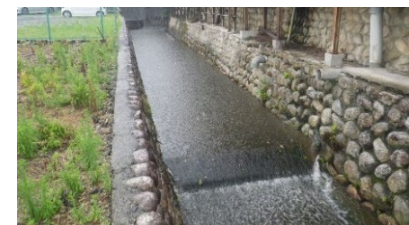
（河道掘削の実施）

- ・市街地における内水氾濫を防止するため、準用河川竜川において除草、浚渫などの河川清掃を実施。

■施工前



■施工後



【持続的な水災害教育の実施と伝承】

・迅速な避難と被害の最小化に向けた地域住民の防災意識向上のための取組

【体験型防災訓練の実施】

自主防災組織や地域の方が避難所設営や運営訓練を体験することで、自助、共助の大切さ、必要性、重要性を理解してもらい、官民の協力団体が実施する様々な防災体験を通じてスキルアップを図り、避難所の自主運営がスムーズに行えることを目的として訓練を実施した。



救護室・更衣室などの設営訓練



アレルギーに配慮した配給所設営訓練



ドローンによる物資輸送調達訓練



自主防災組織と消防団のHUG訓練



自衛隊の災害派遣車両への乗車体験



非常用トイレの作成・凝固剤の体験

【外国人への防災教育の実施】

町内在住・在勤の外国人対象の日本語交流サロンで、町で発生する災害リスクと避難行動の理解を深めるため、町職員と日本語パートナー（ボランティア）とが協働し、西日本豪雨の災害映像やハザードマップを使った、災害リスクと避難行動の学習並びにアルファ化米の試食体験及び避難するときに必要な持ち出し品を考えてもらう防災教室を実施した。



実災害の映像から水災害の理解の促進



ハザードマップから避難場所を学ぶ



日本の避難所の一般的な食事の体験



避難時に必要な持ち出し品を考える

【持続的な水災害教育の実施と伝承】

- ・迅速な避難と被害の最小化に向けた地域住民の防災意識向上のための取組

【その他減災に係る取組方針の項目】

- ・企業等と連携した避難体制等の確保

【持続的な水災害教育の実施と伝承 (防災教育の支援)】

テーマ：朝日町の災害リスクについて、災害への備え

- ・朝日小学校（4年生）において防災講話、防災倉庫見学を実施
- ・鈴鹿医療科学大学看護学生に出前講座を実施

【小学校への講話の様子】



【看護大学生への講座の様子】



【企業等と連携した避難体制等の確保】

- ・柿地区にて津波避難訓練を実施。

災害協定を締結している日本トランスシティ(株)三重朝日物流センター事務所棟の屋上へ実際に避難し、避難行動を円滑に実施するため避難経路の確認、情報伝達、課題や改善策の抽出を行い、実行力の向上を図った。

【避難の様子】



【避難場所での点呼の様子】



【水害リスク情報の空白域の解消】

- ・ 迅速な避難と被害の最小化に向けた地域住民の防災意識向上のための取組

【その他減災に係る取組方針の項目】

- ・ 氾濫による被害の軽減のための迅速かつ的確な水防活動・排水活動の取組

【内水浸水想定区域図の作成・公表】

津市雨水管理総合計画の重点対策地区のうち、下記区域について、内水浸水想定区域図（雨水出水浸水想定区域図）を作成・公表（令和7年3月31日）

令和6年度作成範囲

津市雨水管理総合計画の重点対策地区及び隣接する排水区を含む区域

対象区域

- ①安濃地域
- ②安東、西が丘
- ③大里、上野、豊津
- ④白塚、栗真、一身田、北立誠
- ⑤敬和、養正、修成、育生、神戸、新町、南立誠

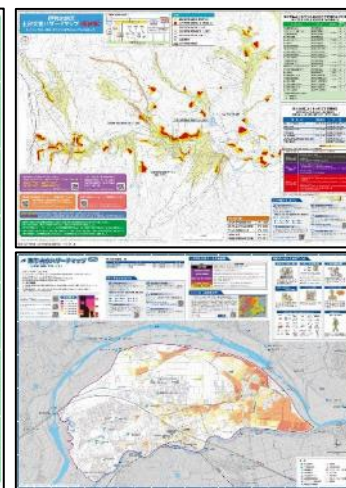
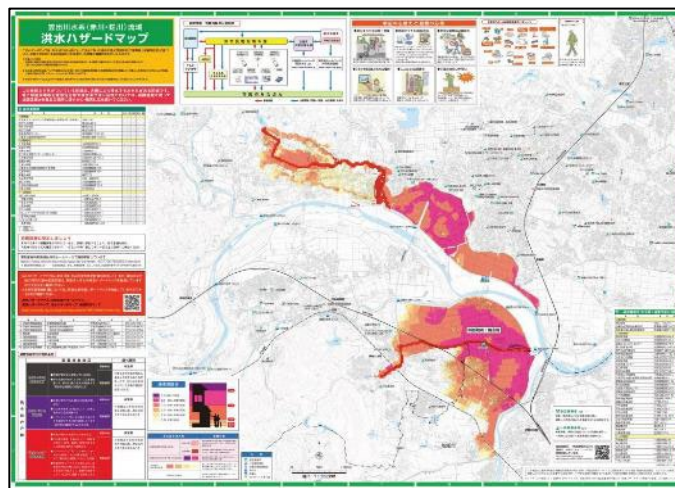
【浸水センサの設置】

令和5年度より参加しているワンコイン浸水センサ実証実験事業において、令和6年度はアンダーパス9箇所を含む18箇所に浸水センサを設置済。



【洪水・土砂災害・内水ハザードマップの作成】

三重県指定の水位周知河川以外の河川の洪水浸水想定区域図をもとに、雲出川流域の河川を含む洪水ハザードマップを新たに作成。併せて、土砂災害警戒区域の追加指定を受けた美杉地域については、土砂災害ハザードマップを作成。また、本市による内水浸水想定区域図の作成に伴い、内水ハザードマップ（一志地域）を作成し、令和7年4月から対象区域に各戸配布等により周知・啓発を実施。



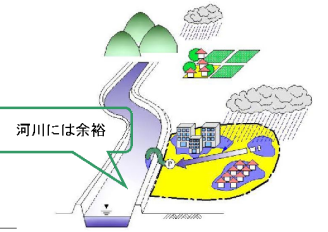
令和6年度重点項目の取組み：水害リスク情報の空白域の解消

降雨の状況と浸水発生シナリオ

浸水シナリオ	対象	降雨の状況		外水位の影響
		河川中上流	下水道排水区域	
①	内水	小雨	大雨	無
②		<大雨	小雨	有
③		<大雨	大雨	有
④	洪水(内水)	大雨	小雨	有
⑤		大雨	大雨	有

大雨：下水道及び河川の雨水排水能力を上回る降雨
<大雨：河川に余裕は無いが河川からの溢水が発生しない程度の降雨

〔シナリオ①：内水浸水想定区域の対象〕



河川には余裕

下水道の雨水排水能力を上回る降雨による浸水

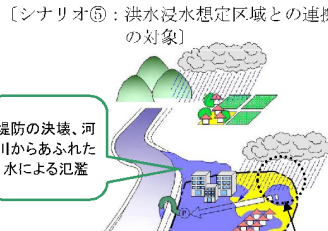
〔シナリオ②：内水浸水想定区域の対象〕



下水管には余裕

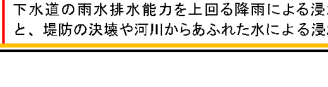
下水道の雨水排水能力以下の降雨であるが、河川へ放流できないことによる浸水

〔シナリオ③：内水浸水想定区域の対象〕



下水道の雨水排水能力を上回る降雨による浸水と、河川へ放流できないことによる浸水

〔シナリオ④：洪水浸水想定区域の対象〕



堤防の決壊、河川からあふれた水による氾濫

下水道の雨水排水能力以下の降雨であるが、堤防の決壊や河川からあふれた水による浸水

〔シナリオ⑤：洪水浸水想定区域との連携の対象〕

堤防の決壊、河川からあふれた水による氾濫

下水道の雨水排水能力を上回る降雨による浸水と、堤防の決壊や河川からあふれた水による浸水

【洪水と内水ハザードマップについて】

- ・洪水ハザードマップは、④と⑤のシナリオによる浸水想定区域図から作成したもの。
- ・内水ハザードマップは、①～③のシナリオによる浸水想定区域図から作成したもの。

～現状～

- ・洪水ハザードマップは作成済み。
- ・内水ハザードマップは作成済み。



～これから～

- ・令和6年度に作成した内水ハザードマップを周知していきます。



- ・水害リスク情報の空白地域の解消へ
- ・防災学習や災害時の緊急避難への活用など

【水害リスクの空白域の解消】 【その他減災に係る取組方針の項目】

【防災講習等の実施】

○令和6年度、地震、風水害に対して、防災マップや「クロスロード」ゲームなどを通し、防災講習を実施した。

参加団体 104団体参
加人数 6,612名



【水防訓練の実施】

○令和6年6月2日、一級河川宮川【宮川大橋下流右岸河川敷（宮川ラブリバー公園）】において、水防訓練を行い、水防工法を実施した。



【水害リスク情報の空白域の解消】

- ・避難行動の確実化に向けた迅速かつ的確な情報提供を行うための取組

【持続的な水災害教育の実施と伝承】

- ・迅速な避難と被害の最小化に向けた地域住民の防災意識向上のための取組

【水害リスク情報の空白域の解消】

- ・防災マップを作成し全世帯に配布し、洪水浸水ハザードマップにて水害時における危険箇所の周知を行った。



【持続的な水災害教育の実施と伝承】

- ・4小学校及び中学校にて防災教育の支援を実施。
- ・自治会長、自主防災組織代表者を避難所開設訓練。
- ・消防団の水防訓練。



防災教育



避難所開設訓練



水防訓練



水防訓練

【持続的な水災害教育の実施と伝承】

- ・迅速な避難と被害の最小化に向けた地域住民の防災意識向上のための取組

【その他減災に係る取組方針の項目】

- ・河川管理者等が実施する防災施設の整備・被害現象のための対策

【持続的な水災害教育の実施と伝承 (防災教育の支援)】

- ・令和6年度においては、川添小学校(R6.7.5)、三瀬谷小学校(R6.11.5、R7.2.27)にて防災教育の支援として、平成16年台風21号豪雨災害の被害状況や当時のまちの防災対応、現在の災害への備え(洪水ハザードマップ活用)について出前防災授業を実施。
- ・今後も、町内の他の小学校での出前防災授業や保護者対象の防災講話などを実施していく予定。



出前防災授業の様子



出前防災授業で使用した資料

【災害からライフラインを守る事前伐採事業】

台風などの倒木が原因の電線寸断による長期の停電を防ぐため、三重県及び中部電力パワーグリッド(株)と連携し、電線を寸断する恐れのある樹木を事前に伐採しました。

大台町小切畑地区

大台町滝谷地区

伐採前



伐採後



【その他減災に係る取組方針の項目】

- ・ 迅速な避難と被害の最小化に向けた地域住民の防災意識向上のための取組
- ・ 河川管理者等が実施する防災施設の整備・被害減少のための対策

【大規模災害を想定した防災訓練の実施】

- ・ 大規模地震による家屋の倒壊、土砂災害、河川の氾濫等を想定した防災訓練を実施。
- ・ 各機関や各所属目線で発生しうる困難事案を想定し問題の解決方法を検討。

【災害図上訓練の様子】



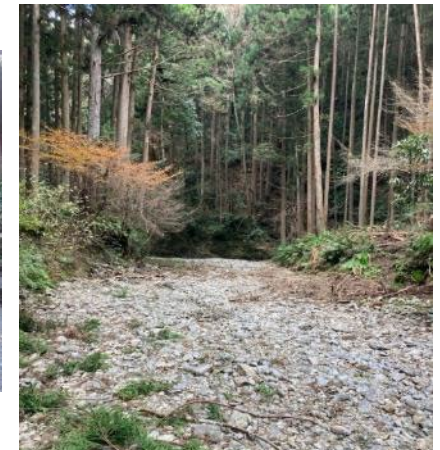
【準用河川小山谷川：流倒木撤去】

- ・ 異常気象により発生した流倒木を伐採、撤去し、土石流や洪水氾濫、下流域の橋梁、人家、農地等への被害を防止。

【施工前】



【施工後】



【持続的な水災害教育の実施と伝承】

- ・迅速な避難と被害の最小化に向けた地域住民の防災意識向上のための取組

【防災教育の支援】

・保育園では、園児が実際に台風や集中豪雨による災害が起きた時に、安全に避難できる能力を身に着けることを目的として、お話や紙芝居を通して自然災害の恐ろしさを学び、保育者の話をしっかり聞いて行動できるように訓練を行いました。

・また、保育士は災害時の冷静な判断力と適切な指示を出す訓練を通して、園児の安全を守る能力を高める事が出来ました。



保育者の話を
聞いています。



【地域防災教育の支援】

・地域の防災力を高めるために、区民の方々と地元の消防団を対象に紀勢地区広域消防組合の指導のもと土嚢づくりや、より効果的に浸水を防ぐための土嚢積み上げ訓練を行いました。

・また、作成した土嚢は、河川の氾濫や大雨による浸水被害から住宅を守るために備蓄しています。



【実効性のある要配慮者施設の避難確保計画の作成促進と避難訓練の実施】

- ・ 迅速な避難と被害の最小化に向けた地域住民の防災意識向上のための取組

【避難確保計画策定及び避難訓練実施の促進】

- ・ 市町担当者を対象に水防法、土砂災害防止法に基づく避難確保計画及び訓練の重要性等の説明を行うとともに、意見交換会を実施。

市町担当者への説明・意見交換



【その他減災に係る取組方針の項目】

- ・ 氾濫による被害の軽減のための迅速かつ的確な水防活動・排水活動の取組
- ・ 河川管理者等が実施する防災施設の整備・被害現象のための対策

【水位状況を確認するための簡易型河川監視カメラの設置：足見川、内部川】

- ・ 足見川、内部川において簡易型河川監視カメラを2箇所設置。
- ・ 四日市建設事務所が所管する簡易型河川監視カメラは、合計11箇所を設置（設置河川：朝明川、海蔵川、三滝川、天白川、鹿化川、鎌谷川、足見川、内部川）。



簡易型河川監視カメラ



簡易型河川簡易カメラからの映像（足見川）

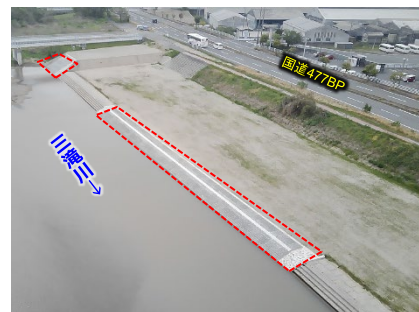


設置箇所 【出典：川の水位情報HPより】

【治水安全度を向上させるためのハード対策：三滝川、朝明川】

- ・ 河川整備計画規模の洪水に対する計画的な治水対策として、二級河川三滝川において低水護岸、朝明川においては堤防嵩上げ等を引き続き実施。

【二級河川三滝川】



【二級河川朝明川】

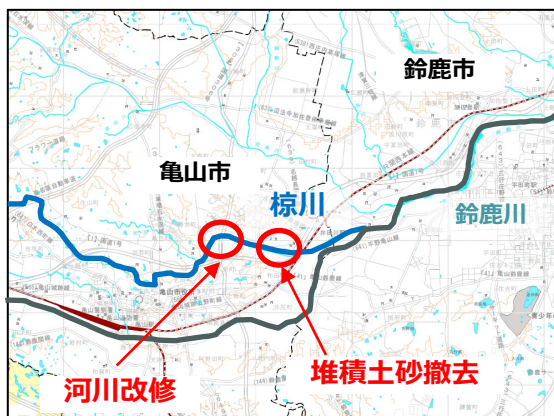


【その他減災に係る取組方針の項目】

- ・河川管理者等が実施する防災施設の整備・被害現象のための対策

<一級河川 椋川 >

- ・河川整備計画目標流量を安全に流下させるために護岸整備を推進
- ・堆積土砂を撤去し治水能力を回復



【河川改修】



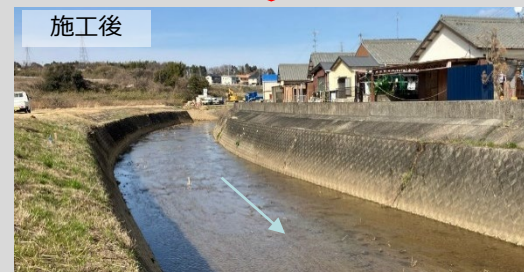
施工後



【堆積土砂撤去】



施工後



【堤防強化】

<二級河川 中ノ川 >

- ・堤防が決壊するまでの時間を少しでも長くするための減災効果を発揮する粘り強い構造の河川堤防整備を推進。



【実効性のある要配慮者施設の避難確保計画の作成促進と避難訓練の実施】

- ・ 迅速な避難と被害の最小化に向けた地域住民の防災意識向上のための取組

【その他減災に係る取組方針の項目】

- ・ 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

【迅速な避難と被害の最小化に向けた地域住民の防災意識向上のための取組】

- ・ 三重県単位民生委員児童委員協議会会長研修会において、防災気象情報の利活用について説明会を実施した。
- ・ 三重県教育委員会主催の特別支援学校防災機能強化検討会への講師派遣。
- ・ 高齢者施設の避難確保計画のフォローアップに参加、気象台から出る防災情報についての説明を実施。



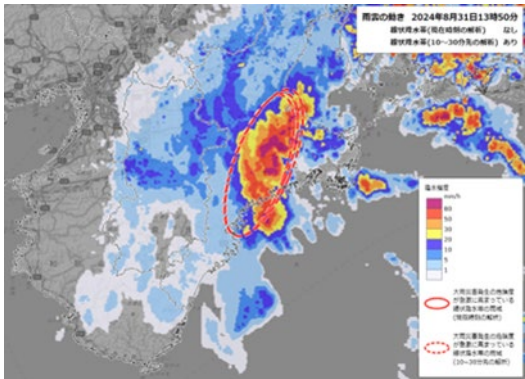
三重県単位民生委員児童委員協議会会長研修会における説明会の様子



気象台が行う要配慮者への取組を紹介

【逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組】

- ・ R6年度は、線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけを、府県単位で実施しています。



令和6年 台風第10号に関する三重県気象情報 第19号
令和6年8月31日 05時42分 津地方気象台発表
(見出し) 三重県では、9月1日午前中にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性があります。

顕著な大雨に関する三重県気象情報 第1号
令和6年8月31日 13時57分 津地方気象台発表
(見出し) 三重県北中部では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続けています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生危険度が急激に高まっています。

情報の改善



【迅速な避難と被害の最小化に向けた地域住民の防災意識向上のための取組】

- 管内の地区地域集会に参加し、浸水想定区域図や蓮ダム緊急放流の仕組み等を説明。



流域住民に防災訓練の講演を実施(R6.6.13)

【持続的な水災害教育の実施と伝承 (防災教育の支援)】

- 中学校・小学校にて、地域のまちづくり協議会が実施する防災教育に参加し、洪水に関する説明を実施。
- 引き続き、地域と連携して防災教育を実施する予定。



流域の小学校で防災教育を実施(R6.4.20)



流域の中学校で防災教育を実施(R6.6.27)